

特記仕様書

1. 適用範囲

本特記仕様書は「町道下江川今井田線 1 号橋橋梁補修設計業務」に適用する。なお、本業務の実施にあたっては「土木設計業務等共通仕様書」（和歌山県県土整備部 令和 4 年 7 月）に準拠する。

2. 目的

日高川町が管理する下記橋梁は、日高川町道路橋個別施設計画により早期に補修を行う必要がある橋梁に位置づけられている。そのため、補修工事を実施することにより大規模な修繕や更新に至る前に対策を行う予防保全として、本業務において詳細調査および補修設計を行うものである。

3. 対象橋梁

本業務の対象橋梁は以下のとおりである。

橋梁名称	橋長 (m)	幅員 (m)	上部工形式	下部工形式
下江川今井田線 1 号橋	3. 3m	2. 2m	RC 桁橋	石積

4. 業務内容

4-1 計画準備

業務の目的、内容等を把握し、設計書に基づき業務計画書を作成するものとする。

4-2 現地調査（踏査含む）

業務計画書に基づき、橋面および橋体について、近接目視により損傷状況を調査するとともに、補修設計に必要な構造寸法の確認および形状計測を実施するものとする。

詳細調査に当たっては調査計画書を作成し、監督職員との協議の上で実施する。

4-3 補修設計（補修工法検討含む）

各損傷箇所について、損傷原因分析結果を踏まえて、補修工法を検討し最適な補修工法を選定する。補修工法を選定に際しては、長寿命化にも留意した検討を行うものとする。前項で選定した対策工法の詳細設計を実施する。補修設計では、必要に応じて部材交換に標準図表等を選定する等の現況復旧に必要な軽微な構造計算を実施するものとする。

4-4 図面作成

位置図、補修箇所図、対策工一般図等を取りまとめた設計図面(作成サイズ A1)を作成するものとする。

4-5 数量計算

工事発注に必要な数量を取りまとめる。

4-6 施工計画

詳細設計を実施した工法に対して、現地条件に留意し、足場、支保工、水替え等の仮設備を検討すると共に施工機械、資材などの搬入路を考慮した施工計画を立案する。

4-7 概算工事費算出

補修設計や数量計算結果に基づき、工事設計書仕様にて概算工事費を算出する。

4-8 照査

設計方針、設計手法および設計計算、設計図、数量計算等の適切性および整合性等について照査(赤黄チェック)を実施するものとする。また、照査技術者は照査計画を立案し、その項目毎に照査を行い、照査報告書としてとりまとめる。

4-9 報告書作成

補修工法、補修材料、施工計画等を取りまとめた報告書を作成するものとする。また、電子記録媒体にて保存を行うものとする。

4-10 報告書作成

打合せ時期は下記のとおりとし、着手時及び成果品納入時には、主任技術者が立ち会うものとする。また、打合せ回数は3回予定しているが、必要に応じ追加実施する。

- ・業務着手時
- ・中間時(最低1回)
- ・成果品納入時
- ・その他、監督職員が認めたとき

5. 新技術の活用検討について

業務の実施に際し新技術の活用の検討並びに従来工法との比較を行うこと。検討結果については、業務成果に取りまとめるとともに、別途所定の様式により提出すること。

なお、新技術とは原則として「NETIS 登録技術」に掲載されている技術とする。

6. 成果品

本業務で提出する成果品については、以下の項目のとおりとする。

- 1) サイズは A4 版とする。
- 2) 整理形式は、キングファイル製本とする。
- 3) 数量計算等については、エクセル等表計算ソフトにおいて作成し、図面 CAD データ (SFC 形式) とあわせて CD-R に保管し提出する。

4) 成果品提出部数

- | | |
|--------------|-----|
| ・ 報告書 製本 | 1 部 |
| ・ 概要版 製本 | 1 部 |
| ・ 図面 A3 縮小版 | 1 部 |
| ・ 電子データ CD-R | 1 部 |

【設計業務】新技術等活用検討結果について

選択	—	入力	入力	入力	入力	選択	入力	入力	入力	入力	入力	備考	
契約情報						施設情報		新技術等活用検討結果					備考
建設部	番号	工事番号	工事名	施設名称	路線名	新技術等の採用	「新技術等の採用」欄で○を記入した場合		「新技術等の採用」欄で×を記入した場合				
							番号 (点検支援技術性能力 タログ：技術番号) (NETIS：登録番号)	技術名	番号 (点検支援技術性能力 タログ：技術番号) (NETIS：登録番号)	技術名	新技術等を採用しなかった理由	技術名	
〇〇	記入例	令和〇年度道保メンテ第〇〇〇-〇号-〇	〇〇線（〇〇橋）道路メンテナンス設計業務	〇〇橋	〇〇線	○（採用した）	〇〇-〇〇	〇〇	—				
〇〇	記入例	令和〇年度道保メンテ第〇〇〇-〇号-〇	〇〇線（〇〇トンネル）道路メンテナンス設計業務	〇〇トンネル	〇〇線	×（採用しなかった）	—	—	〇〇-〇〇	〇〇		〇〇工法	
	1												
	2												
	3												
	4												
	5												
	6												
	7												
	8												
	9												
	10												
	11												
	12												
	13												
	14												
	15												
	16												
	17												
	18												
	19												
	20												
	21												
	22												
	23												
	24												
	25												
	26												
	27												
	28												
	29												
	30												
	31												
	32												
	33												
	34												
	35												
	36												
	37												
	38												
	39												
	40												

対象施設毎に入力願います

番号： 1

建設部名：

路線名	県道 ●●●線
施設名	●●●橋

●新技術等を採用した場合

「コスト縮減」「事業の効率化」などについて、在来工法との比較結果をとりまとめた資料の添付をお願いします。

定期点検記録様式（その１） 橋梁の諸元と総合検査結果

起点側	緯度	33° 53' 14"	終点側	緯度	—	橋梁ID	33. 88722, 135. 21528
	経度	135° 12' 55"		経度	—		

ブリガナ 橋梁名	シエカワマイダ [※] センイチノ [※] キョウ 下江川今井田線1号橋		路線名	町道下江川今井田線		管理者	和歌山県	橋梁コード	109
所在地	自	和歌山県日高郡日高川町江川	距離標	自	—		日高川町	調書更新年月日	2023年2月12日
	至	和歌山県日高郡日高川町江川		至	—		建設課	最新点検年月日	2022年11月18日

供用開始日	不明	橋長	3. 30m	活荷重・等級		不明			適用示方書		不明						交通条件	調査年	—
上部構造形式	RC桁橋			幅員	全幅員	2. 20m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線		車道幅・車線		歩道幅	地覆幅	中央帯	中央分離帯		交通量	—
					有効幅員	2. 20m	0. 00m	0. 00m	2. 20m	1	0. 00m	0	0. 00m	0. 00m	0. 00m	—			—
下部構造形式	その他（橋台）			備考	○代替路の有無：有 ○緊急輸送路：無													大型混入率	—
基礎形式	直接基礎				○路下条件：水路 ○占用物件：無													荷重制限	不明
																		○占用物件：	

総合検査結果

健全度 (橋単位)	Ⅲ
--------------	---

◎本橋はRC桁橋である。路下条件は水路である。
 前回健全度は、「Ⅱ」。
 以下に、今回の点検による損傷の概要を示す。
 コンクリートブロックを主桁として設置した構造で、主桁の上に土砂（コンクリートの可能性もあり）、コンクリート舗装が施工されている。

定期点検者	
-------	--

【主桁】

- 主桁の剥離・鉄筋露出、うき範囲が前回から進展し、桁長全体に拡大している。橋面からの漏水、地覆からの伝い水等により腐食が促進されたものと推測される。【判定C2】

【橋台】

- 鉄筋露出・うき・欠損が見られる。【判定C1】

【路面】

- コンクリート桁と舗装の間詰め部に空洞が見られる。【判定C1】、鉄筋探査機により舗装は鉄筋コンクリートである事を確認した。
- 舗装に路面の凹凸が見られる。【判定B】

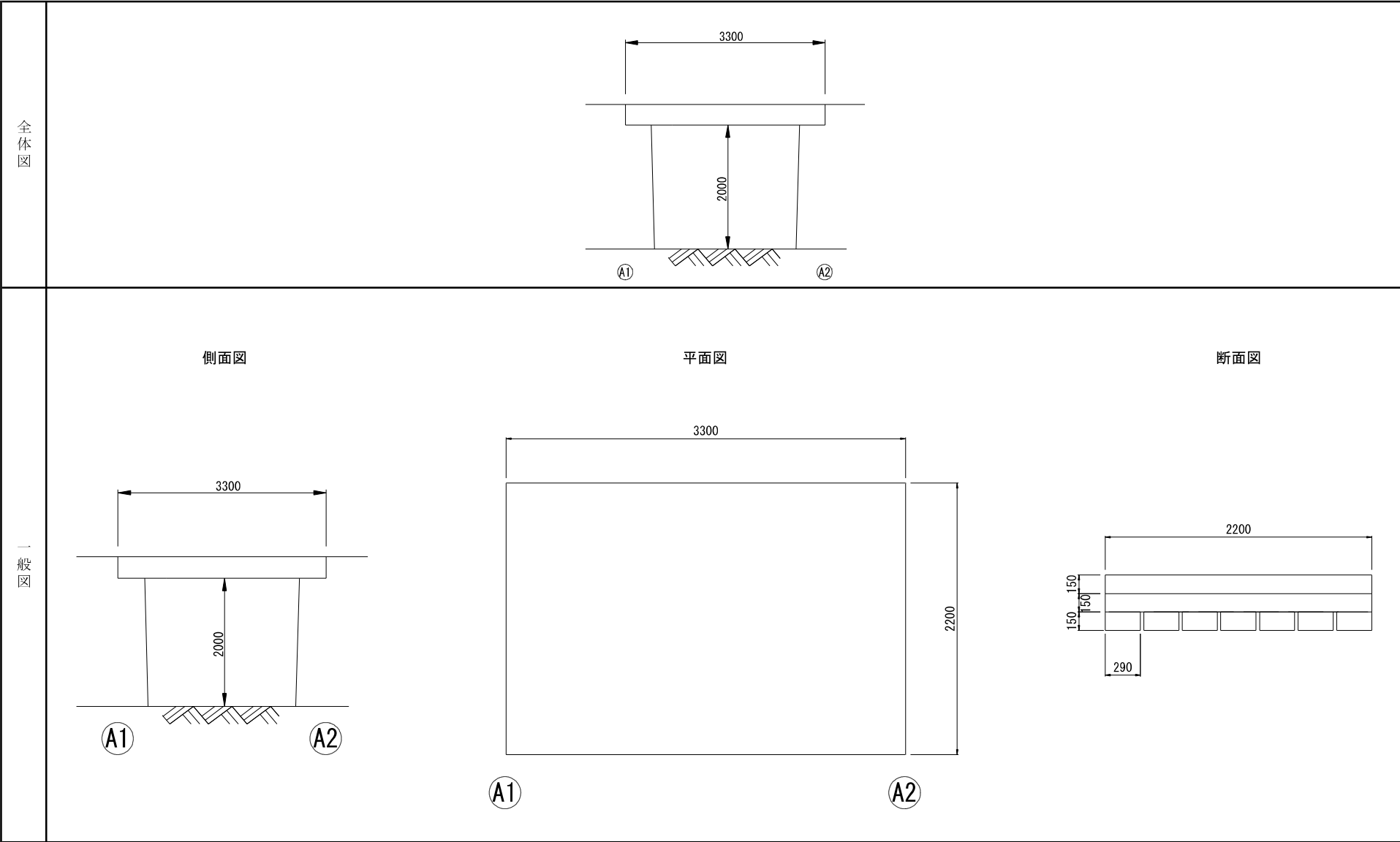
【総合評価】

- 主桁に鉄筋露出・うきが見られる。道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
 詳細調査により、内部鉄筋の腐食状況を確認し、状況により上部工の取り換え等の対策を検討するのが望ましい。

対象区分	判定の内容	診断区分
A	損傷が認められないか、損傷が軽微で補修を行う必要がない場合	I
B	状況に応じて補修を行う必要がある。	I
C 1	予防保全の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。	II
C 2	構造物の安全性の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。	III
E 1	構造物の安全性の観点から、緊急対応の必要がある。	IV
E 2	その他、緊急対応の必要がある。	IV
M	維持工事で対応する必要がある。	II
S 1	計画調査の必要がある。	
S 2	即時調査の必要がある。	

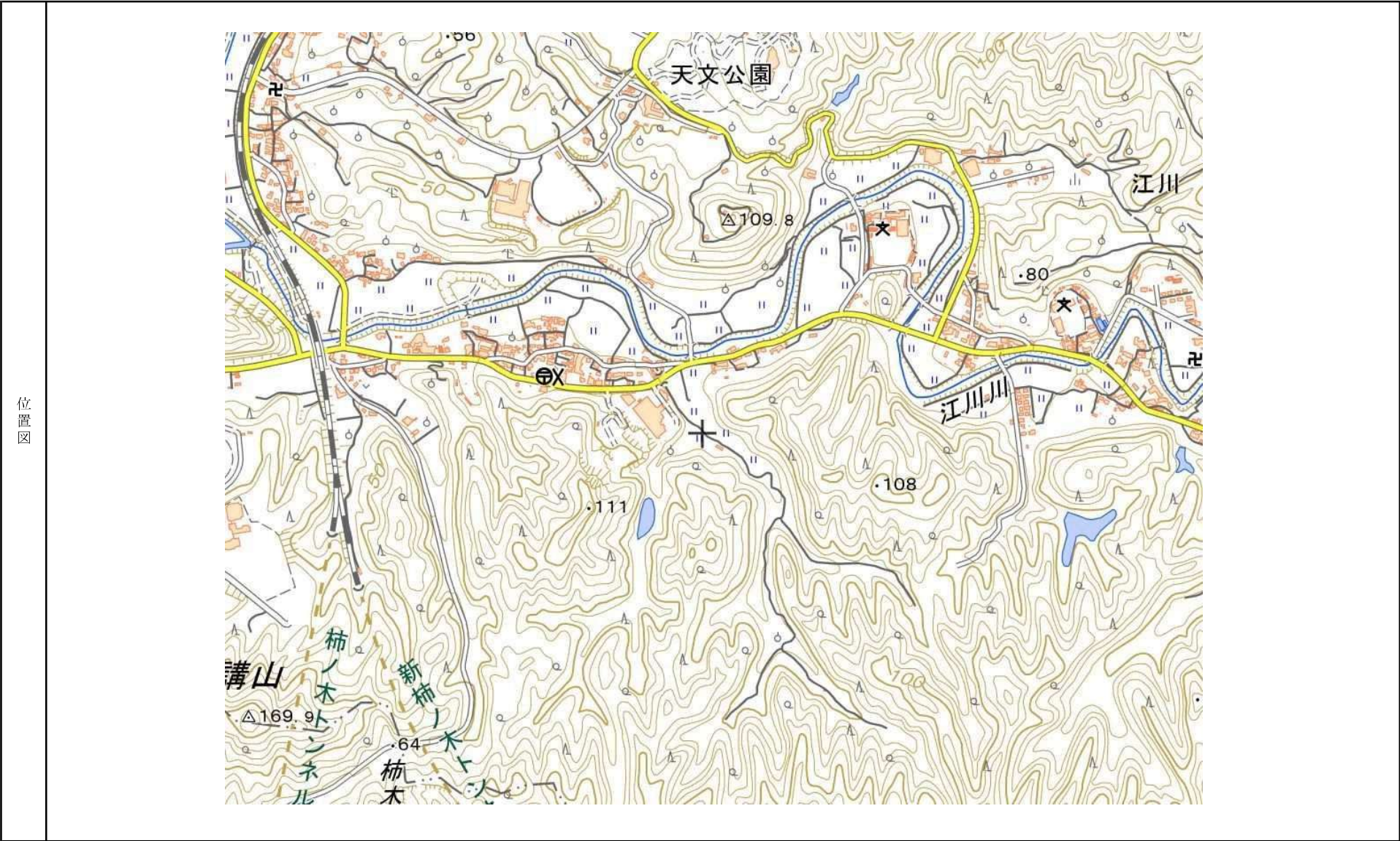
定期点検記録様式（その2） 径間別一般図		径間番号	1	起点側	緯度	33° 53' 14"	終点側	緯度	—	桥梁ID	33. 88722, 135. 21528
					経度	135° 12' 55"		経度	—		

フリガナ 桥梁名	シエカワマイタセイチゴウキョウ 下江川今井田線1号橋	路線名	町道下江川今井田線	管理者	和歌山県	桥梁コード	109
-------------	-------------------------------	-----	-----------	-----	------	-------	-----



点検記録様式（その3） 橋梁位置図		径間番号	1	起点側	緯度	33° 53' 14"	終点側	緯度	—	橋梁ID	33. 88722, 135. 21528
					経度	135° 12' 55"		経度	—		

フリガナ	シエカワマイタセシチゴウキョウ	路線名	町道下江川今井田線	管理者	和歌山県	橋梁コード	109
橋梁名	下江川今井田線1号橋						



定期点検記録様式（その4） 現地状況写真				径間番号	1	起点側	緯度	33° 53' 14"	終点側	緯度	—	橋梁ID	33. 88722, 135. 21528
							経度	135° 12' 55"		経度	—		

フリガナ 橋梁名	シモカワマイダセンイゴウウキョウ 下江川今井田線1号橋	路線名	町道下江川今井田線	管理者	和歌山県	橋梁コード	109
-------------	--------------------------------	-----	-----------	-----	------	-------	-----

現 地 状 況 写 真	写真番号	1	撮影年月日	2022. 11. 18	写真番号	2	撮影年月日	2022. 11. 18	写真番号	3	撮影年月日	2022. 11. 18
	径間番号	1			径間番号	1			径間番号	1		
	メモ (必要に応じて)	橋面 手前が起点			メモ (必要に応じて)	側面 左が起点			メモ (必要に応じて)	桁下面 手前が起点		
												
	写真番号	4	撮影年月日	2022. 11. 18	写真番号	5	撮影年月日	2022. 11. 18	写真番号	6	撮影年月日	2022. 11. 18
	径間番号	1			径間番号	1			径間番号	1		
	メモ (必要に応じて)	下部工（A1橋台） 奥が起点			メモ (必要に応じて)	下部工（A2橋台） 手前が起点			メモ (必要に応じて)	点検状況 徒歩による点検		
												

フリガナ 橋梁名	シメエカワマイバツ センイコウ 橋	路線名	町道下江川今井田線	管理者	和歌山県	橋梁コード	109
-------------	-------------------	-----	-----------	-----	------	-------	-----

要素番号図及び部材番号図

主桁

下流
↑

01
02
03
04
05
06
07

A1 A2

支承本体

0101 0102

A1 A2

橋台

01 02

A1 A2

舗装

01

A1 A2

定期点検記録様式（その6）	損傷図	径間番号	1	起点側	緯度	33° 53' 14"	終点側	緯度	—	橋梁ID	33. 88722, 135. 21528
					経度	135° 12' 55"		経度	—		

フリガナ	シモエカワマイタセンイチゴウキョウ	路線名	町道下江川今井田線	管理者	和歌山県	橋梁コード	109
橋梁名	下江川今井田線1号橋						

損傷図

桁下面

主桁01
うき:e→C2
写真1

400×150mm

主桁02
うき:e→C2
写真2

600×150mm

主桁04
うき:e→C2
写真3

300×150mm

主桁05
うき:e→C2
写真4

400×150mm

主桁06
剥離・鉄筋露出:d→C2
写真5

1100×300mm

主桁07
うき:e→C2
写真8

800×300mm

主桁07
剥離・鉄筋露出:d→C2
写真6, 7

500×150mm

主桁07
うき:e→C2
写真9

900×300mm

A1

A2

対策区分		診断区分
A	損傷が認められないが、損傷が軽微で補修を行う必要がない場合。	I
B	状況に応じて補修を行う必要がある。	I
C1	予防保全の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。	II
C2	橋梁構造の安全性の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。	III
E1	橋梁構造の安全性の観点から、緊急対応の必要がある。	IV
E2	その他、緊急対応の必要がある。	IV
M	維持工事で対応する必要がある。	II
S1	詳細調査の必要がある。	
S2	追跡調査の必要がある。	

損傷内容の凡例

部材番号
損傷の種類：損傷区分→対策区分
写真番号

損傷の凡例

損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひびわれ		遊離石灰	
剥離		漏水	
鉄筋露出		その他	
うき			

定期点検記録様式（その6） 損傷図		径間番号	1	起点側	緯度	33° 53' 14"	終点側	緯度	—	橋梁ID	33. 88722, 135. 21528
					経度	135° 12' 55"		経度	—		

フリガナ 橋梁名	シモエカワイマイダセシチゴウウキョウ 下江川今井田線1号橋	路線名	町道下江川今井田線	管理者	和歌山県	橋梁コード	109
-------------	----------------------------------	-----	-----------	-----	------	-------	-----

損傷図

A1橋台

側面（上流側）

正面

側面（下流側）

橋台01
剥離・鉄筋露出:c→C1
写真10

橋台01
剥離・鉄筋露出:d→C1
写真11, 12

石積

150 × 400mm

150 × 450mm

対策区分		診断区分
A	損傷が認められないが、損傷が軽微で補修を行う必要がない場合。	I
B	状況に応じて補修を行う必要がある。	I
C1	予防保全の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。	II
C2	橋梁構造の安全性の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。	III
E1	橋梁構造の安全性の観点から、緊急対応の必要がある。	IV
E2	その他、緊急対応の必要がある。	IV
M	維持工事で対応する必要がある。	II
S1	詳細調査の必要がある。	
S2	追跡調査の必要がある。	

損傷内容の凡例

部材番号
損傷の種類：損傷区分→対策区分
写真番号

損傷の凡例

損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひびわれ		遊離石灰	
剥離		漏水	
鉄筋露出		その他	
うき			

定期点検記録様式（その6） 損傷図		径間番号	1	起点側	緯度	33° 53' 14"	終点側	緯度	—	橋梁ID	33. 88722, 135. 21528
					経度	135° 12' 55"		経度	—		

フリガナ	シモエガワマイタセイチゴウキョウ	路線名	町道下江川今井田線	管理者	和歌山県	橋梁コード	109
橋梁名	下江川今井田線1号橋						

損傷図

A2橋台

側面（下流側）

正面

側面（上流側）

橋台02
変形・欠損(欠損):c→C1
写真13

橋台02
うき:e→C1
写真14

150×200mm

150×1000mm

対策区分		診断区分
A	損傷が認められないが、損傷が軽微で補修を行う必要がない場合。	I
B	状況に応じて補修を行う必要がある。	I
C1	予防保全の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。	II
C2	橋梁構造の安全性の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。	III
E1	橋梁構造の安全性の観点から、緊急対応の必要がある。	IV
E2	その他、緊急対応の必要がある。	IV
M	維持工事で対応する必要がある。	II
S1	詳細調査の必要がある。	
S2	追跡調査の必要がある。	

損傷内容の凡例

部材番号
損傷の種類：損傷区分→対策区分
写真番号

損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひびわれ		遊離石灰	
剥離		漏水	
鉄筋露出		その他	
うき			

定期点検記録様式（その6） 損傷図	径間番号	1	起点側	緯度	33° 53' 14"	終点側	緯度	—	橋梁ID	33. 88722, 135. 21528
				経度	135° 12' 55"		経度	—		

フリガナ 橋梁名	シエカワマイタセイチゴウキョウ 下江川今井田線1号橋	路線名	町道下江川今井田線	管理者	和歌山県	橋梁コード	109
-------------	-------------------------------	-----	-----------	-----	------	-------	-----

損傷図

路面

舗装01
その他(空洞):e→C1
写真19

伸縮装置01
健全:a→A
写真15

舗装01
路面の凹凸:e→B
写真17, 18
段差:35mm

伸縮装置02
健全:a→A
写真16

舗装01
その他(空洞):e→C1
写真20~22

A1

A2

対策区分		診断区分
A	損傷が認められないが、損傷が軽微で補修を行う必要がない場合。	I
B	状況に応じて補修を行う必要がある。	I
C1	予防保全の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。	II
C2	橋梁構造の安全性の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。	III
E1	橋梁構造の安全性の観点から、緊急対応の必要がある。	IV
E2	その他、緊急対応の必要がある。	IV
M	維持工事で対応する必要がある。	II
S1	詳細調査の必要がある。	
S2	追跡調査の必要がある。	




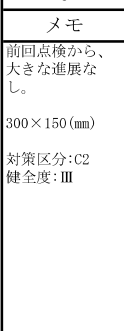



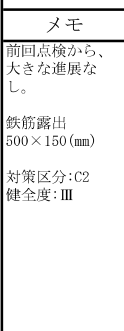
損傷内容の凡例

部材番号
損傷の種類：損傷区分→対策区分
写真番号

損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひびわれ		遊離石灰	
剥離		漏水	
鉄筋露出		その他	
うき			


定期点検記録様式（その7） 損傷写真					径間番号	1		起点側	緯度	33° 53' 14"	終点側	緯度	—	橋梁ID	33. 88722, 135. 21528
								経度	135° 12' 55"		経度	—			

フリガナ 橋梁名	シモエカワマイダセンイゴウキョウ 下江川今井田線1号橋				路線名	町道下江川今井田線		管理者	和歌山県			橋梁コード	109	
カメラの性能	機種				画素数			明るさ				判読レベル(mm)		

損 傷 写 真	写真番号	1		径間番号	1		写真番号	2		径間番号	1		写真番号	3		径間番号	1		
	部材名	主桁		要素番号	01		部材名	主桁		要素番号	02		部材名	主桁		要素番号	04		
	損傷の種類	うき		損傷程度	e		損傷の種類	うき		損傷程度	e		損傷の種類	うき		損傷程度	e		
					前回損傷程度					前回損傷程度					前回損傷程度				
					e					e									
					メモ					メモ									
					前回点検から、大きな進展なし。 400×150 (mm) 対策区分:C2 健全度:Ⅲ					前回点検から、大きな進展なし。 600×150 (mm) 対策区分:C2 健全度:Ⅲ					前回点検から、大きな進展なし。 300×150 (mm) 対策区分:C2 健全度:Ⅲ				
	写真番号	4		径間番号	1		写真番号	5		径間番号	1		写真番号	6		径間番号	1		
	部材名	主桁		要素番号	05		部材名	主桁		要素番号	06		部材名	主桁		要素番号	07		
	損傷の種類	うき		損傷程度	e		損傷の種類	剥離・鉄筋露出		損傷程度	d		損傷の種類	剥離・鉄筋露出		損傷程度	d		
				前回損傷程度					前回損傷程度					前回損傷程度					
				e					d										
				メモ					メモ										
				前回点検から、大きな進展なし。 400×150 (mm) 対策区分:C2 健全度:Ⅲ					鉄筋露出 300×1100 (mm) 対策区分:C2 健全度:Ⅲ					鉄筋露出 500×150 (mm) 対策区分:C2 健全度:Ⅲ					

定期点検記録様式（その7） 損傷写真					径間番号	1		起点側	緯度	33° 53' 14"	終点側	緯度	—	橋梁ID	33. 88722, 135. 21528
							経度	135° 12' 55"		経度	—				





フリガナ 橋梁名	シモエカワマイダニヤゴウキョウ 下江川今井田線1号橋				路線名	町道下江川今井田線		管理者	和歌山県			橋梁コード	109	
カメラの性能	機種				画素数			明るさ				判読レベル(mm)		

損 傷 写 真	写真番号	7	径間番号	1	写真番号	8	径間番号	1	写真番号	9	径間番号	1
	部材名	主桁	要素番号	07	部材名	主桁	要素番号	07	部材名	主桁	要素番号	07
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	損傷の種類	うき	損傷程度	e	損傷の種類	うき	損傷程度	e
				前回損傷程度				前回損傷程度				前回損傷程度
				d				e				e
				メモ				メモ				メモ
				前写真の防錆処理後				前回点検から、大きな進展なし。 300×800 (mm) 対策区分:C2 健全度:Ⅲ				前回点検から、大きな進展なし。 900×300 (mm) 対策区分:C2 健全度:Ⅲ
												
	写真番号	10	径間番号	1	写真番号	11	径間番号	1	写真番号	12	径間番号	1
部材名	橋台	要素番号	01	部材名	橋台	要素番号	01	部材名	橋台	要素番号	01	
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	c	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	
			前回損傷程度				前回損傷程度				前回損傷程度	
			c				d				d	
			メモ				メモ				メモ	
			前回点検から、大きな進展なし。 剥離 150×400 (mm) 対策区分:C1 健全度:Ⅱ				前回点検から、大きな進展なし。 鉄筋露出 150×450 (mm) 対策区分:C1 健全度:Ⅱ				前写真の防錆処理後	
												

定期点検記録様式（その7） 損傷写真				径間番号	1	起点側	緯度	33° 53' 14"	終点側	緯度	—	橋梁ID	33. 88722, 135. 21528
							経度	135° 12' 55"		経度	—		

フリガナ 橋梁名	シモエカワイマイダセンイゴウキョウ 下江川今井田線1号橋			路線名	町道下江川今井田線		管理者	和歌山県			橋梁コード	109	
カメラの 性能	機種				画素数			明るさ				判読レベル(mm)	

損 傷 写 真	写真番号	13	径間番号	1	写真番号	14	径間番号	1	写真番号	15	径間番号	1
	部材名	橋台	要素番号	02	部材名	橋台	要素番号	02	部材名	伸縮装置	要素番号	01
	損傷の種類	変形・欠損	損傷程度	c	損傷の種類	うき	損傷程度	e	損傷の種類		損傷程度	a
				前回損傷程度				前回損傷程度				前回損傷程度
				c				e				a
				メモ				メモ				メモ
				前回点検から、 大きな進展なし。 欠損 150×200 (mm) 対策区分:C1 健全度: II				前回点検から、 大きな進展なし。 150×1000 (mm) 対策区分:C1 健全度: II				健全 対策区分:A 健全度: I
												
	写真番号	16	径間番号	1	写真番号	17	径間番号	1	写真番号	18	径間番号	1
	部材名	伸縮装置	要素番号	02	部材名	舗装	要素番号	01	部材名	舗装	要素番号	01
	損傷の種類		損傷程度	a	損傷の種類	路面の凹凸	損傷程度	e	損傷の種類	路面の凹凸	損傷程度	e
				前回損傷程度				前回損傷程度				前回損傷程度
				a				a				a
				メモ				メモ				メモ
				健全 対策区分:A 健全度: I				新規損傷 段差:35 (mm) 対策区分:B 健全度: I				前写真の近接
												

定期点検記録様式（その7） 損傷写真					径間番号		1		起点側		緯度 33° 53' 14"		終点側		緯度 —		橋梁ID		33. 88722, 135. 21528					
フリガナ 橋梁名		シモエカワイマイダセンイゴウキョウ 下江川今井田線1号橋					路線名		町道下江川今井田線		管理者		和歌山県				橋梁コード		109					
カメラの 性能		機種					画素数					明るさ						判読レベル(mm)						
損 傷 写 真	写真番号		19		径間番号		1		写真番号		20		径間番号		1		写真番号		21		径間番号		1	
	部材名		舗装		要素番号		01		部材名		舗装		要素番号		01		部材名		舗装		要素番号		01	
	損傷の種類		その他		損傷程度		e		損傷の種類		その他		損傷程度		e		損傷の種類		その他		損傷程度		e	
					前回損傷程度						前回損傷程度						前回損傷程度							
					a						a													
					メモ						メモ													
					新規損傷						新規損傷													
					空洞						空洞						前写真の近接							
					対策区分:C1 健全度: II						対策区分:C1 健全度: II													
	写真番号		22		径間番号		1		写真番号				径間番号				写真番号				径間番号			
部材名		舗装		要素番号		01		部材名				要素番号				部材名				要素番号				
損傷の種類		その他		損傷程度		e		損傷の種類				損傷程度				損傷の種類				損傷程度				
				前回損傷程度		空 白				前回損傷程度		空 白				前回損傷程度								
				a						a														
				メモ						メモ														
				前写真の近接						前写真の近接														

定期点検記録様式（その8） 健全性の診断総括表		径間番号	1	起点側	緯度	33° 53′ 14″	終点側	緯度	—	橋梁ID	33. 88722, 135. 21528
					経度	135° 12′ 55″		経度	—		

フリガナ 橋梁名	シモカワマイタノセンイチゴウキョウ 下江川今井田線1号橋	路線名	町道下江川今井田線	管理者	和歌山県	橋梁コード	109
-------------	---------------------------------	-----	-----------	-----	------	-------	-----

部材毎の健全性の診断

部材名		部材番号	損傷の種類	写真番号	部材毎の判定区分
上部構造	主桁	01	うき	1	III
	主桁	02	うき	2	III
	主桁	04	うき	3	III
	主桁	05	うき	4	III
	主桁	06	剥離・鉄筋露出	5	III
	主桁	07	剥離・鉄筋露出	6, 7	III
	主桁	07	うき	8, 9	III
下部構造	橋台	01	剥離・鉄筋露出	10	II
	橋台	01	剥離・鉄筋露出	11, 12	II
	橋台	02	変形・欠損	13	II
	橋台	02	うき	14	II
支承部					
その他	伸縮装置	01		15	I
	伸縮装置	02		16	I
	舗装	01	路面の凹凸	17, 18	I
	舗装	01	その他	19	II
	舗装	01	その他	20～22	II

○診断根拠とした、損傷を記載する。